

## 第7回圧力設備規格審議委員会 議事録

1 日 時: 平成 21 年 2 月 3 (水) 14:00~17:00

2 場 所: 第七東ビル一階会議室

3 出席者: (敬称略)

能登委員長(千代田), 青木(東電), 石毛(IHI), 石丸(住友ケミカルエンジニアリング), 内野(東ガス), 緒方(電中研), 恩澤(東工大名誉教授), 金川(ガス協会), 木原(ベストマテリア), 小林(横国大), 佐々木(安研), 佐藤(日揮), 澤(広島大), 下村(日立), 樋口(IHIソリューションズ)

事務局: 河野、大西、田畑、田中(HPI) 以上 19 名(委員数 15 名)

4 資料番号: 圧力設備規格審議 7

1 第6回圧力設備規格審議委員会 議事録案

2-1 圧力設備規格審議委員会 書面投票結果、委員のコメント又は意見及び対応案表(規格制定手順書)

2-2 圧力設備規格審議委員会 書面投票結果、委員のコメント又は意見及び対応案表(HPIS D113)

2-3 理事会審議結果報告

第 46 期第 4 回理事会議事録案(抜粋)

第 46 期第 5 回理事会議事録案(抜粋)

3-1 圧力設備規格審議委員会 書面投票結果、委員のコメント又は意見及び対応案表(HPIS Z105)

3-2 圧力設備規格審議委員会 書面投票結果、委員のコメント又は意見及び対応案表(HPIS C105)

4-1 HPIS A102:2009(日本高圧力技術協会規格作成基準)の改正についての付議

4-2 HPIS A 102:2009 r10 090130

4-3 HPIS A102:2009 日本高圧力技術協会規格作成基準改正項目比較表 r7

5-1 圧力設備規格審議委員会規則の改正についての付議

5-2 圧力設備規格審議委員会規則(事務局改正案)090122

5 議事

能登委員長の司会のもと、以下の議事が進められた。

5.1 前回議事録の確認

資料 7-1 により、前回議事録案が読み上げられ、一部修正の上、満場一致で承認された。修正点は次の下線部を追加する。「5-7HPIS Z105(管フランジ用ガスケットの加熱条件下における密封特性試験方法)規格制定提案に対する付議について」の上から 4 行目の下線部を訂正する。  
高温がスケット 高温ガスケット

5.2 圧力設備規格審議委員会書面投票結果及び理事会審議結果報告について

資料 7-2-1 によって、事務局から圧力設備規格審議委員会規格制定手順書に対する、書面投票結果が報告された。投票総数は 23 票で書面投票は成立し、賛成投票数は 22 票で可決の決議となった。

資料 7-2-2 によって、事務局から HPISD113 に対する書面投票結果が報告された。投票総数は 22 票で書面投票は成立し、賛成投票数は 22 票で可決の決議となった。

資料 7-2-3 によって、事務局から上記二つの案件について理事会でいずれも承認された旨の審議結果が報告された。

### 5.3 圧力設備規格審議委員会書面投票結果について

資料 7-3-1 によって、事務局から HPIS Z105 に対する書面投票結果が報告された。投票総数は 20 票で書面投票は成立し、賛成投票数は 20 票で可決の決議となった。

資料 7-3-2 によって、事務局から HPIS C105 に対する書面投票結果が報告された。投票総数は 23 票で書面投票は成立し、賛成投票数は 21 票で可決の決議となった。

これらについて、今後、委員会を開かずにパブリックコメントにかける為の作業中で、パブリックコメントの募集期間は、2月9日(月)～3月11日(水)になる予定であることの報告が事務局からあった。

なお、書面投票の投票種別に関して、資料に示された票数は最初の投票のもので、対応案をうけて意見を変えて、反対から賛成に転じても票数は変わらないという説明があった。委員のコメント又は意見の対応表に、コメント付き賛成か意見付き反対かが分かるようにすべきとの意見が出された。

### 5.4 HPIS A102(日本高圧力技術協会規格作成基準)の改正についての付議について

事務局より、資料 7-4-1 によって、HPIS A102(日本高圧力技術協会規格作成基準)改正について委員会に付議された。資料 7-4-2、資料 7-4-3 により、原案作成者、規格作成基準改正 WG 内野主査より説明を行い、審議を行った。コメントは以下の通りである。

- a) 中点“・”を使わない。
- b) 及び、並びに、と、又は、若しくは、ただし、など、の記述の統一が取れていないので見直す。
- c) 表紙裏に改正履歴を追加する。
- d) 表 3 の規格と表 2 の規格番号区分の対応を明確にする。
- e) 表 3 の附属書を 1 箇所にまとめて記載し、附属書 A、附属書 B のように下線部を追加する。
- f) 附属書 F、23 ページの「1. 文章の書き方」の下側の細別記号を上の a)、b)、c) と変える。
- g) 解説のまとめ方については、前の解説を残して、改正部分を明確にした方が良いという意見があった。それに対して、経緯は圧力技術誌に投稿し、解説は簡単なものとした方が良いという意見が出された。
- h) 現在作成中の規格にこの規格を 2009 年度からの適用は難しいのではないかというコメントがあった。

これらを受けて HPIS A102 規格改正提案は審議レベル (パブリックコメントなし) とし、本日のコメントを反映した上で、書面投票に移ること、書面投票は期間 15 日間で実施することが満

場一致で可決された。

#### 5.5 圧力設備規格審議委員会規則の改正についての付議について

事務局より資料 7-5-1 により圧力設備規格審議委員会規則の改正について委員会に付議された。事務局が資料 7-5-2 により改正案を説明し、議論した。

議論の結果以下のように訂正することになった。

- a) 第 17 条 3 項(6)「その解決に向けた対応の要請はせず、」は表現が適切でないので削除する。
- b) 理事会での会長コメントに対応するために以下の下線部を追加し、付議案の手順書の変更はなしとなった。
- c) 18 条 3 「前項の修正案の決議は、第 17 条の規定による。但し、再度のパブリックコメントの実施は必要としない。」
- d) プロセスレビュー等の実施時期について第 19 条 1 項に「パブリックコメント実施案件についてはパブリックコメント実施後とする。」との趣旨を追加する。
- e) 規則の議論に当たっては手順書との対比表を作った方がわかりやすいとのコメントがあり、書面審議の時に手順書も添付することになった。

これを受けて、事務局が本日のコメントを反映した上で、書面投票に移ること、書面投票は期間 15 日間で実施することが満場一致で可決された。

#### 6 次回予定

未定

以上